

ととと通信は平川の分身がお客様へのご挨拶に伺う。という気持ちでお届けしています。当然ですが無料です。

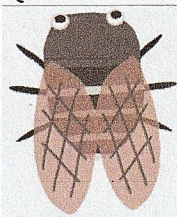
ととと通信

2025年7月24日発行

268号

「ととと通信」は
毎週に「ととと」
いつも読んでくださ
いください。

こんにちは！平川です。いよいよ夏本番、ビアガーデンが恋しくなる頃となりました。いかがお過ごしでしょうか。さて外食をした時、注文した料理に異物(虫など)が混入していて、その写真をSNSへ投稿し炎上する。なんてことが最近ちょくちょくありますが、それを見るたびに思い出すことがあります。もう30年も前です。友達4人で焼鳥屋さんへ行っただけです。福岡では焼鳥を注文するとキャベツがついてくるのですが、そのキャベツの追加をお願いしたのです。すると大将の奥さんがボウルに山盛り入ったキャベツを持って来て、「ハイヨ！」と元気よく大皿へひっくり返したんです。するとキャベツの上に、なんとアブラゼミが乗っていたんです。奥さんは「あらっ」と言ってサッとそれをつかみ、何事もなかったように持って行きました。「今のゼミやったよね？」一瞬間があった後、私たちは大笑いしました。大らかな時代でしたね。



では今月もはりきっていきましよう！

一瞬の間(ま)

夏の風物詩と言えば花火。全国各地で花火大会が開催されます。さて日本の花火は外国人にも大変人気があります。彼らが不議に思うことがあるらしいのです。それは「花火が打ち上がる時に鳴る、あのヒューという音はいい何なん？」ということ。あのヒューという音は、実は日本の花火だけ。外国の花火は鳴りません。ですから不思議に思っているのだと思います。そこであの音を花火が上昇する時に鳴る風を切る音とかわれていく方も多いのではありませんか。違うんです。実は音が鳴るように花火玉に雷が付けられているのです。では雷を付けてまで音を出す理由は何でしょうか。それはドーンと爆発する前に一瞬の間(ま)を意図的につくるためです。ヒュー・間・ドーンです。なぜ間をつくる必要があるのでしょうか。



それは一瞬の静寂があると、爆発した音がより一層迫力あるように感じるからです。奥が深いですね。私はここに日本人ならではの美意識を感じてしまいます。歌舞伎の、いよ・間・ポンも一瞬の間があるから、ポンが生きてきます。間は美しいのです。そして間はずム感を生みます。もし無ければ間抜け、間が悪いとなります。花火は見るだけでなく、耳から聴きみたいものです。しかし最近、海外の影響で、花火に合わせる音量の音楽を流すのが流行のようです。静寂があつてこそその花火なのに、もったいない。日本人の心を忘れないで欲しいものです。今年の夏、ご家族で花火を見る機会もあるかと思っています。話題の一つにいかがでしょうか。

バナナ香るカスタードシュー

先日、テレビでコンビニスイーツランキングがあつていました。大手コンビニのシュークリームを、コメントタイガが食べ比べて、批評をしています。私は甘いものに興味はありませんが、妻はじっと見えています。すると一人が、セブンイレブンの「バナナ香るカ



スタードシュー」という商品を、美味しさと絶賛しています。それに輪をかけてパティシエも、コンビニでこの価格で出されたり、もうお手上げです。みたいなことを言っています。へーそんなに美味しいんだ。と聞いていたり、妻が「これ食べた。買って来て。あとから出かけるんではよ。帰りにセブンに寄って買ってきて」と。帰りに寄るのはいけれど、もう売り切れて無いと思うよ」と私。テレビでこんなに絶賛したらもう残っているわけないやんと思いいながら、一応帰りに寄ってみました。するとやはり売り切れていました。と思ったら、店員さんが裏へ行き、大きな箱に何個も入った、バナナ香るカスタードシューを持って来て商品棚へ補充を始めるではないですか。あー、そうかと。セブンイレブンも放送されるのを知っているわけですから、その日に合わせて大量に仕入れしときますよね。まんまとメディアのマーケティングに引っ掛かってしまいましたと。

発行／有限会社アサム 平川雅樹
〒819-1127 福岡県糸島市有田中央 2-14-36
☎:092-321-4001 ✉:hirakawa@asam.jp

・伊都倫理法人会ブログ : <https://itorinri.com/>

ご感想や楽しいメッセージをお待ちしています。大変打ち疲れ弱いのび 批判はご遠慮下さいませ。(笑)